

岩手県感染症週報

平成18年第4週（1月23日～1月29日）

岩手県結核 感染症情報センター

第4週の概要

- 1 類感染症
- 2 類感染症
- 3 類感染症

・患者発生の報告はありませんでした。

- 4 類感染症

- 5 類感染症（全数把握対象疾患）

・患者発生の報告はありませんでした。

- 5 類感染症（定点把握対象疾患）

・インフルエンザは、前週からさらに患者が増加し、北上地区では定点当たり患者数が39.4人と今シーズン県内で初めて警報値（同患者数30.0人）を超えました。一方、昨年12月に患者数が多かった盛岡、花巻地区では、年が明けてからは注意報値以下（同患者数10.0人）で横ばい状態にあり、宮古地区は県内もっとも低い患者発生数で推移しています。しかし、その他の地区ではいずれも注意報値を超え、増加の一途をたどっています。学級閉鎖等の措置もこの週には内陸南部、沿岸南部地域からの報告が相次いでおり、2/3までに延べ33施設に達しています。

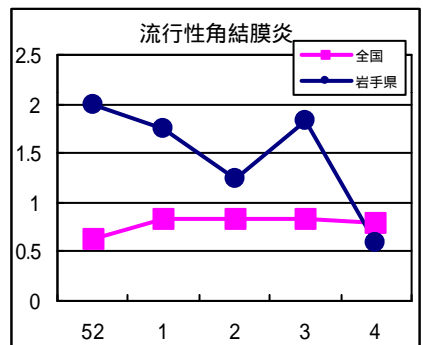
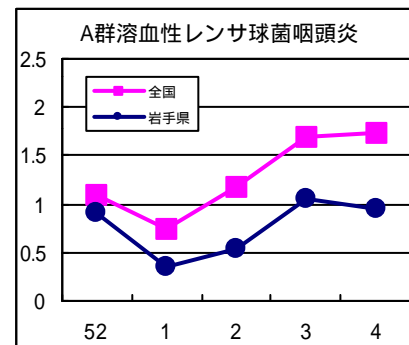
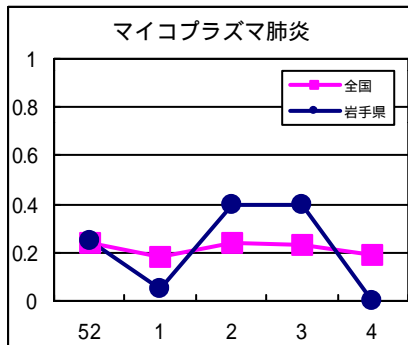
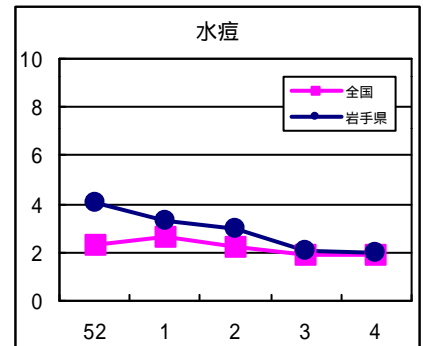
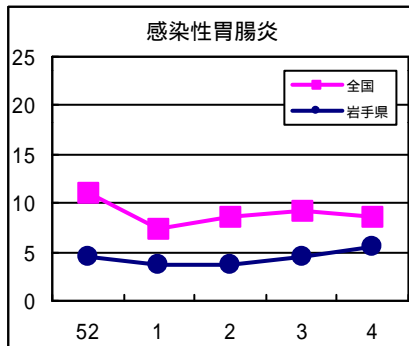
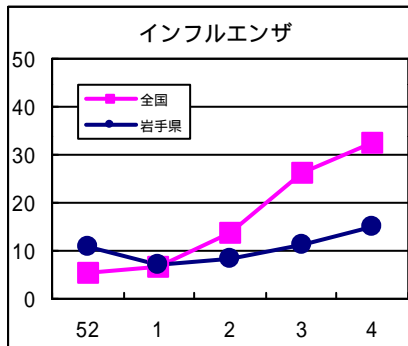
インフルエンザに感染し、治療を受けて症状が軽減しても、解熱後2日間程度はウイルスを排出し他人を感染させる恐れがあるので注意が必要です。

・感染性胃腸炎は、この週には花巻、北上地区で大きく増加しました。同地区では、仕出し食品を介したノロウイルスによる大規模な集団食中毒事件が発生しており、その影響により報告数が増加した可能性もあります。ノロウイルスは感染力が非常に強いため、食品を介した感染により、容易に広域な健康被害を引き起こします。食品を取り扱う場合は特に消毒や手洗いが重要です。

・溶レン菌咽頭炎は、花巻地区で警報値（定点当たり患者数4.0人）を超えています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		52	1	2	3	4		
インフルエンザ	岩手県	10.86	7.14	8.14	11.21	15.08	↗	
	全国	5.34	6.82	13.88	26.21	32.37		
咽頭結膜熱	岩手県	0.03	0.03	0	0.03	0.08	→	
	全国	0.35	0.25	0.24	0.23	0.22		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.9	0.36	0.54	1.05	0.95	→	
	全国	1.1	0.74	1.17	1.69	1.73		
感染性胃腸炎	岩手県	4.59	3.64	3.67	4.46	5.56	↗	
	全国	11.15	7.28	8.56	9.18	8.56		
水痘	岩手県	4.08	3.33	2.95	2.1	2	→	
	全国	2.3	2.66	2.21	1.86	1.92		
手足口病	岩手県	0.41	0.13	0.1	0.26	0.41	→	
	全国	0.11	0.07	0.08	0.08	0.09		
伝染性紅斑	岩手県	0.03	0.03	0.13	0.03	0.21	→	
	全国	0.15	0.17	0.29	0.33	0.32		
突発性発疹	岩手県	0.36	0.36	0.26	0.46	0.46	→	
	全国	0.44	0.39	0.63	0.6	0.57		
百日咳	岩手県	0	0	0	0.03	0	→	
	全国	0.01	0	0	0.01	0		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.05	0.18	0.28	0.21	0.23	→	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.03	0.03		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.56	0.54	0.54	0.54	0.62	→	
	全国	1.23	1.45	1.56	1.06	1.05		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0.17	↗	
	全国	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	2	1.75	1.25	1.83	0.58	↘	
	全国	0.62	0.83	0.84	0.83	0.8		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	1263	984	805				
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.01	0.03		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.25	0.05	0.4	0.4	0	↘	
	全国	0.24	0.18	0.24	0.23	0.19		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0	0.02	0.02	0.02		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）									(患者発生数)	
分類	疾病名	岩手県					全国			
		(週) 52	1	2	3	4	累計	4	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	3	
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	2	31	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	4	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	40	
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	4	23	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	4	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	2	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	2	15	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	6	13	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	3	10	
	後天性免疫不全症候群	0	1	0	0	0	1	9	50	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	7	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	1	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	2	6	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	2	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	0	0	0	1	0	1	7	29	
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	2	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	2	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	4	
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	3	19		
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

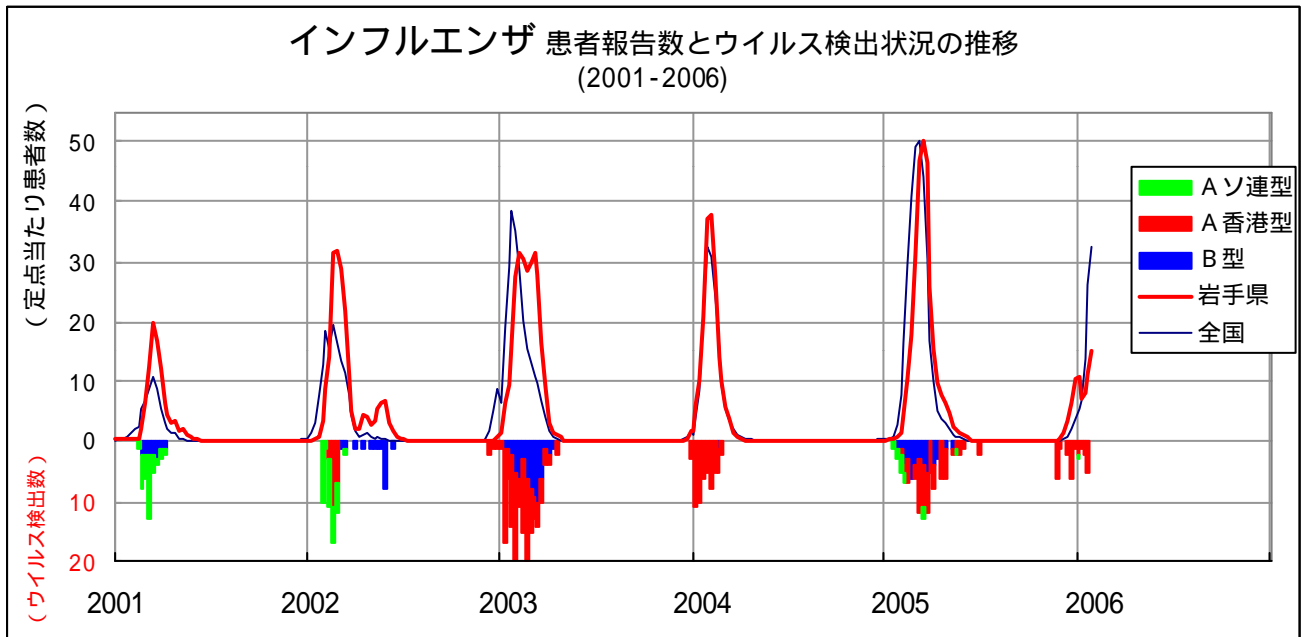
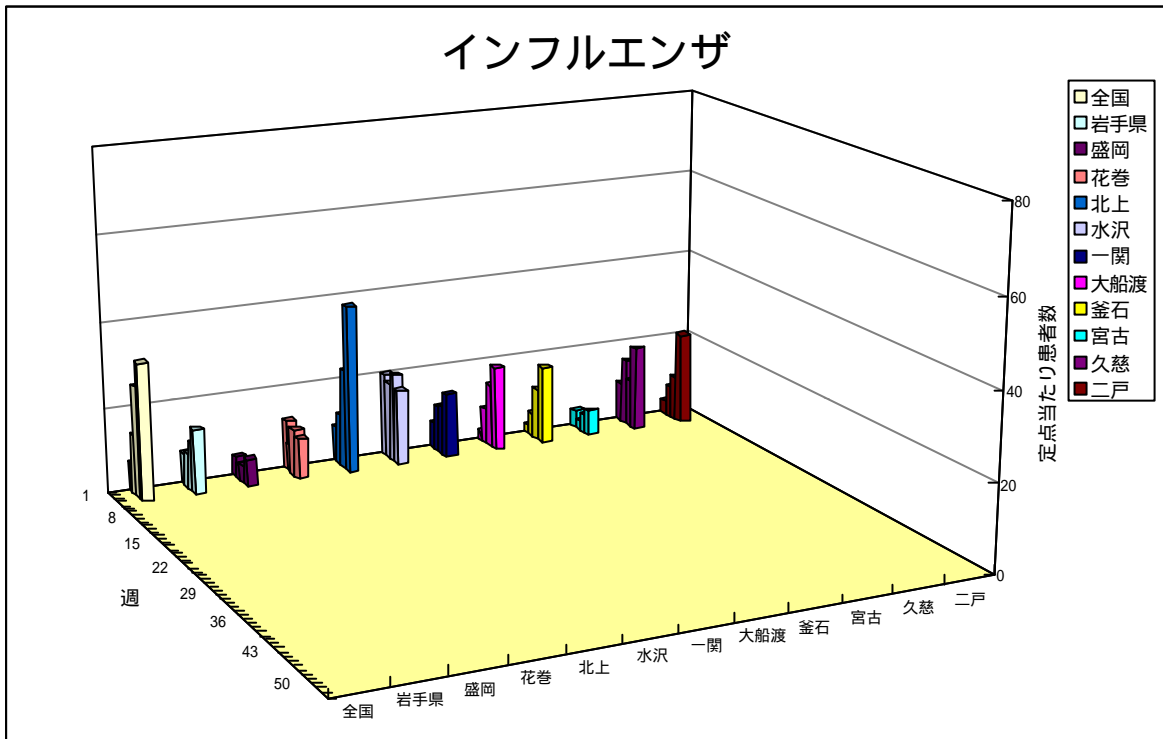
今注目の感染症

インフルエンザ

インフルエンザは、例年、12月頃から患者数が増え始め、2～3月が流行のピークであるが、今シーズンは、盛岡地区では、11月に集団感染による学校閉鎖措置がとられた小学校もあり、例年よりも早い流行状況となっている。

年末年始休などで、一時は患者数が減少したが、1月中旬からは学校などで3学期が始まることもあり、さらに患者は増加することが予想される。

環境保健研究センターの病原体検査では、11月にA香港型、12月にはAソ連型インフルエンザウイルスが分離検出されている。



病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液からA香港型インフルエンザウイルスを12例分離検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の便からノロウイルス遺伝子型IIを3例、A群ロタウイルスを1例検出しました。
- ・流行性角結膜炎の患者の結膜拭い液からアデノウイルス37型を1例分離検出しました。

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

集団感染情報

インフルエンザ様疾患による施設閉鎖措置等の状況（2/1まで）

岩手県	盛岡	花巻	北上	水沢	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
33	14	3	3	1	4	6	0	0	1	1

食中毒事件の発生について

1 事件の探知

1/26（木）午前10時頃、北上市内の幼稚園から、「食中毒様症状を訴えて多数の園児が休園している。」との情報が北上保健所にあった。

2 調査結果

北上保健所の調査の結果、患者の発生が複数の幼稚園及びベビーホームで確認されたこと、患者の症状が共通していること、また、患者の共通食品は同一の仕出し弁当屋が提供した食事のみであることから、本事件を当該仕出し弁当を原因とする食中毒事件と断定した。

（1）初発月日 1/25（水）午後2時

（2）有症者数 幼稚園等10施設、142名（園児141名、職員11名、入院なし）

（3）主症状 吐き気、嘔吐、腹痛、下痢

（4）病因物質 ノロウイルス

（5）原因食品 1/24昼の給食

（献立：鶏から揚げ、エビフリッター、マカロニサラダ、フルーツ（生パイナップル））

（6）原因施設 北上市内の飲食店（仕出し屋）

3 保健所の措置

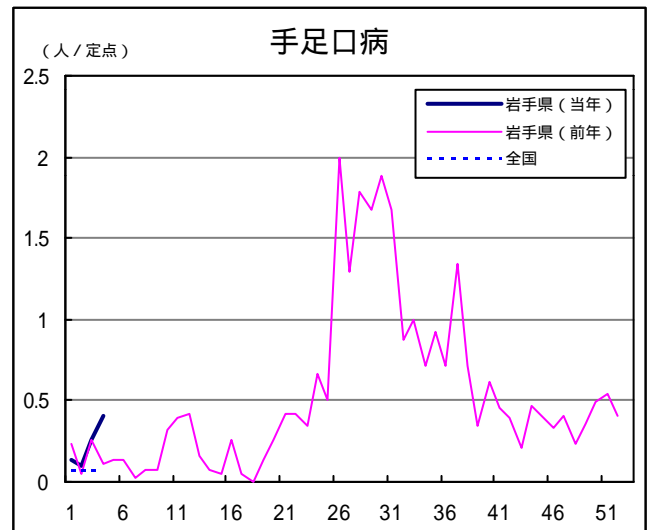
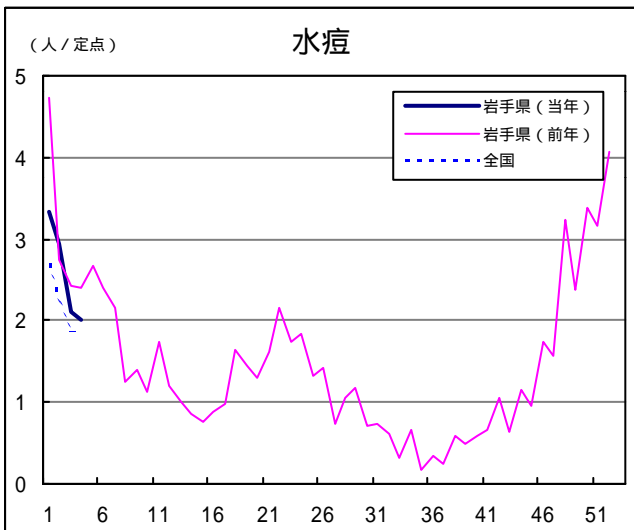
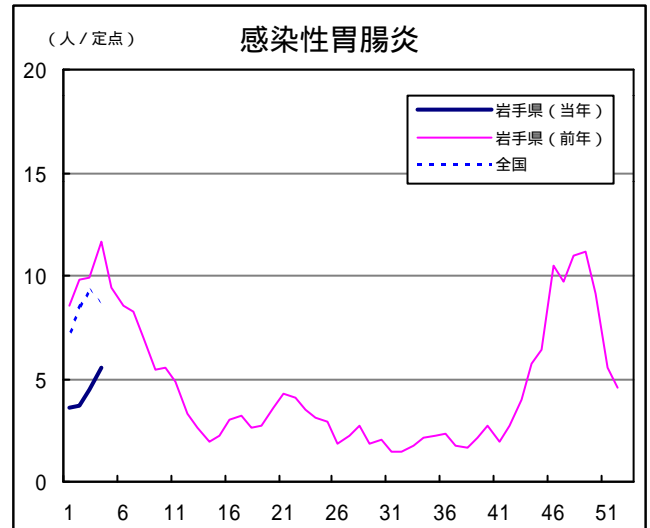
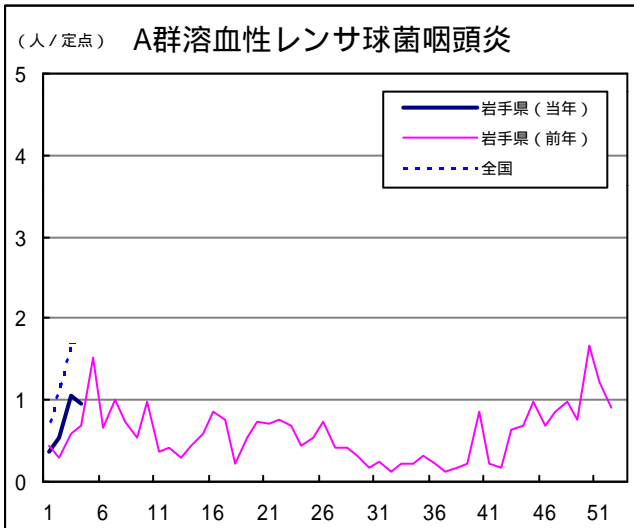
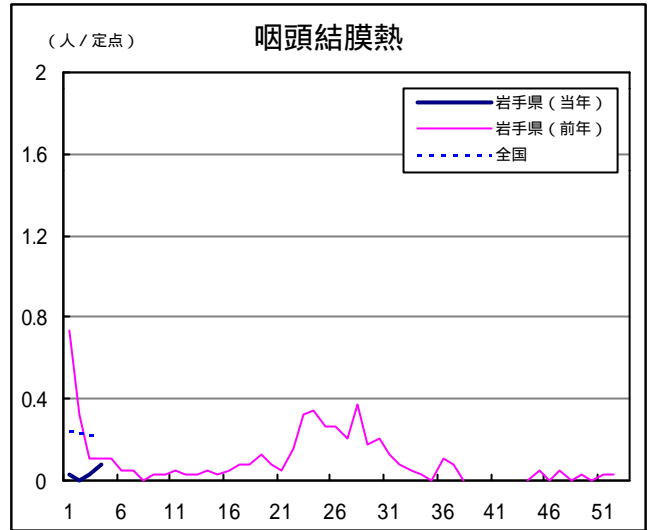
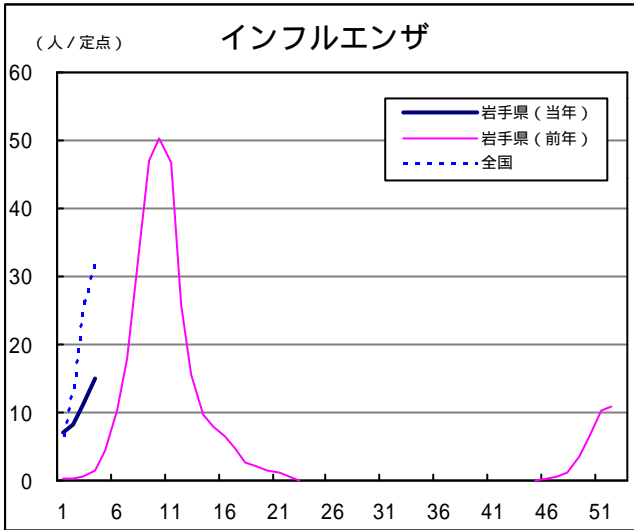
北上保健所は当該飲食店を1/28（土）から1/30（月）までの3日間、食品衛生法に基づき営業停止処分とした。

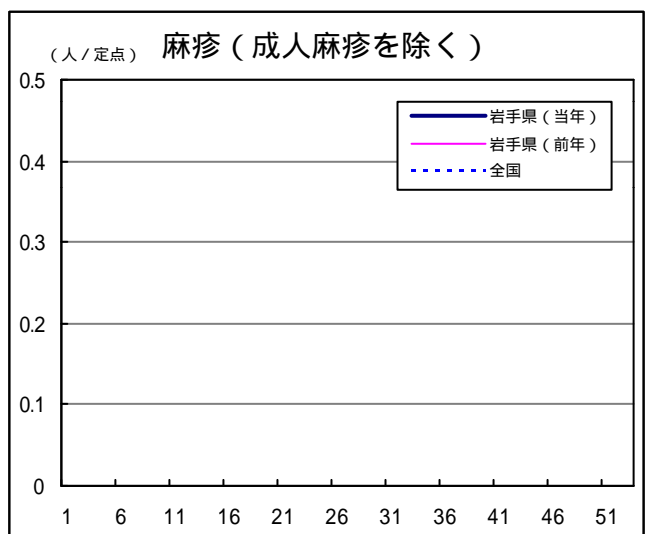
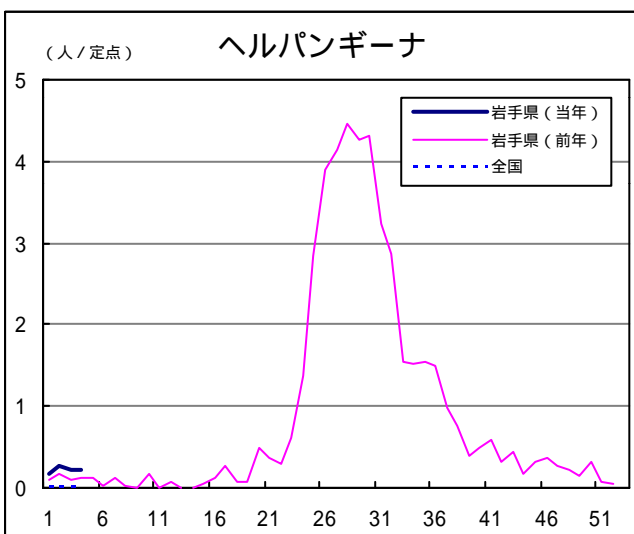
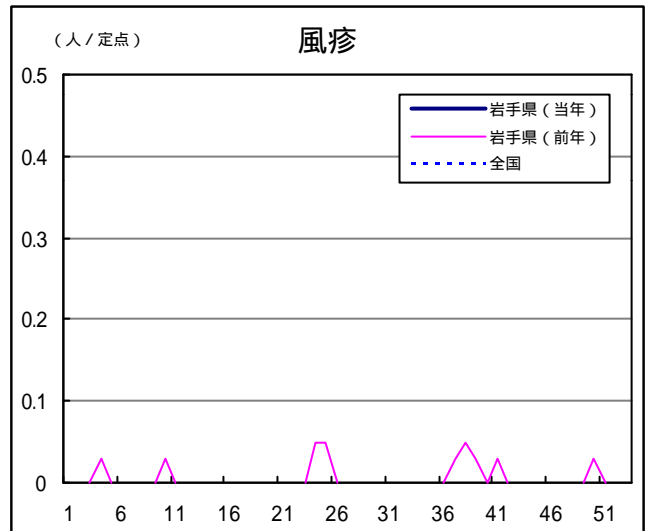
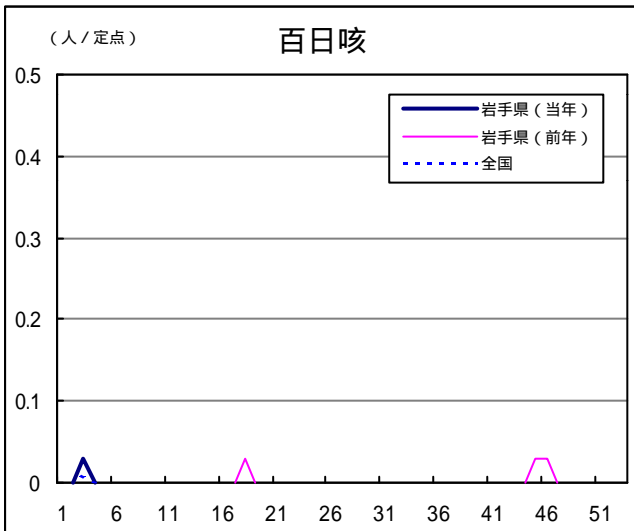
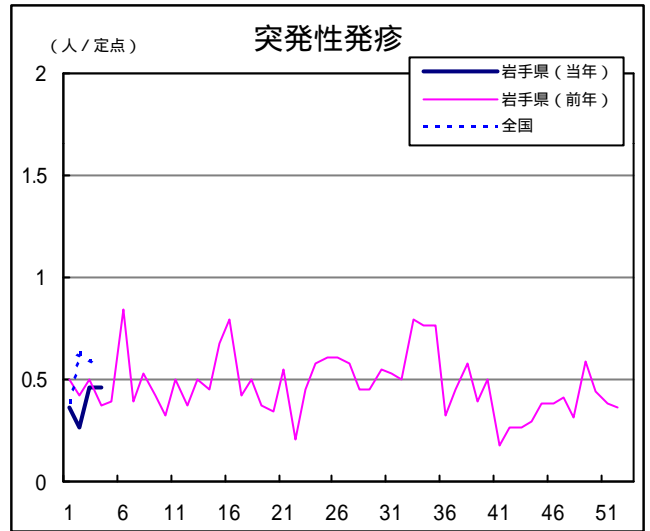
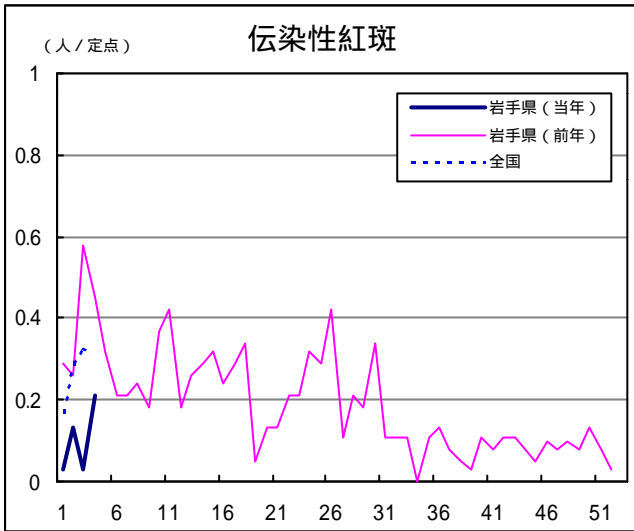
Q & A

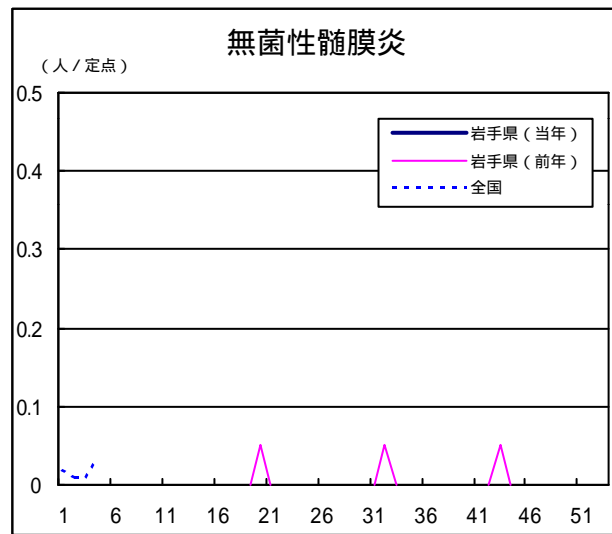
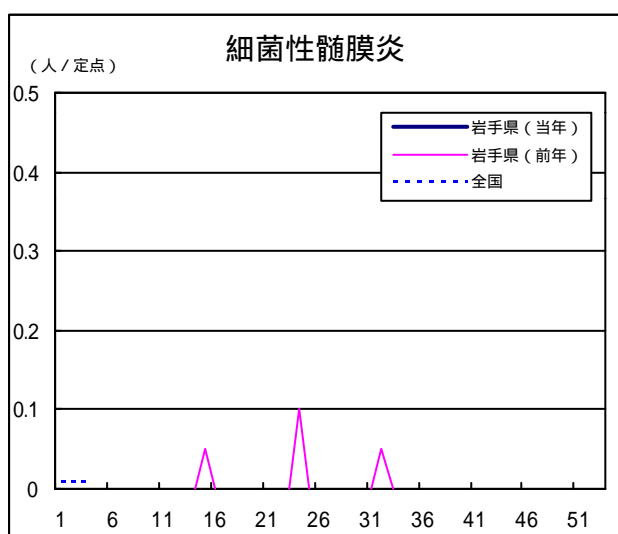
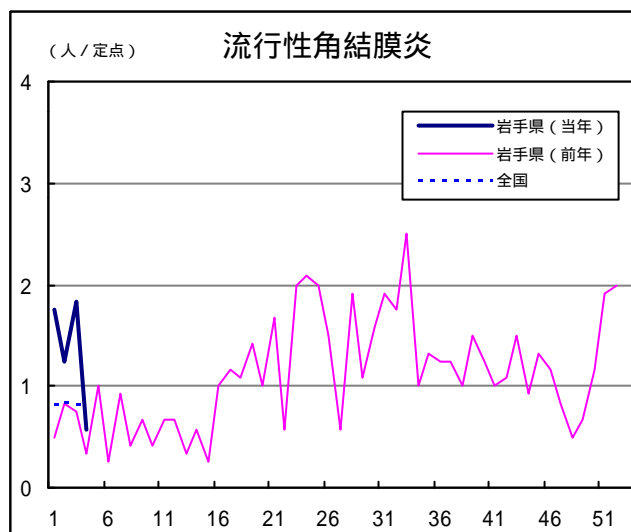
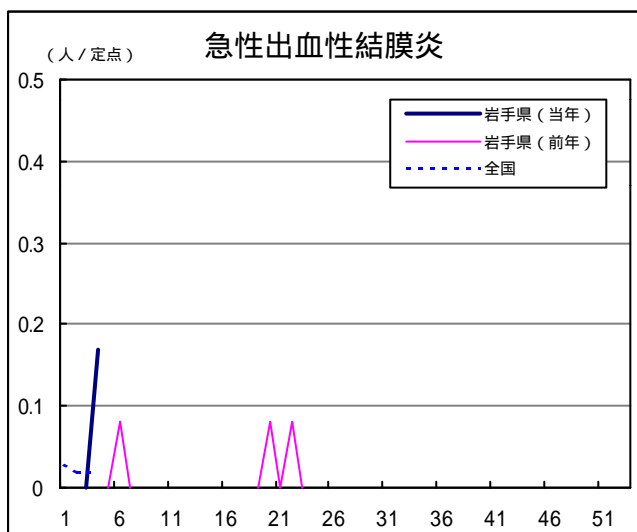
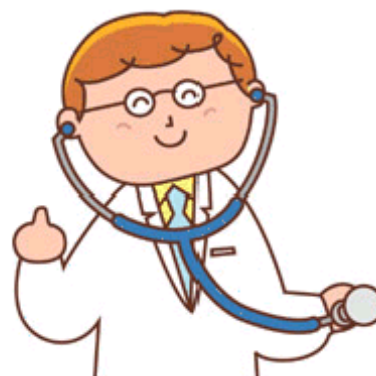
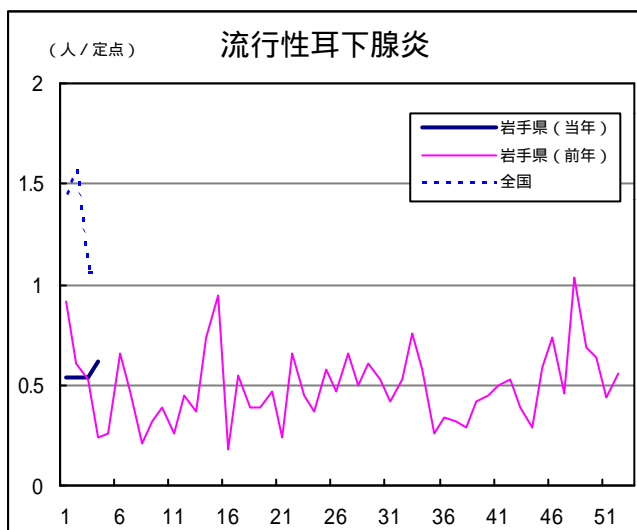
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

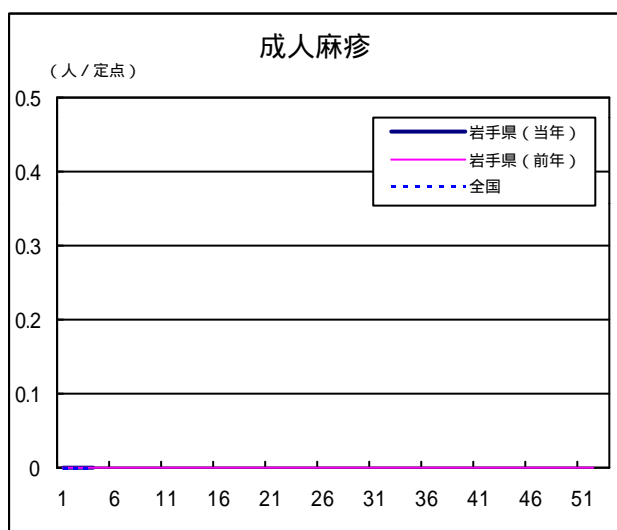
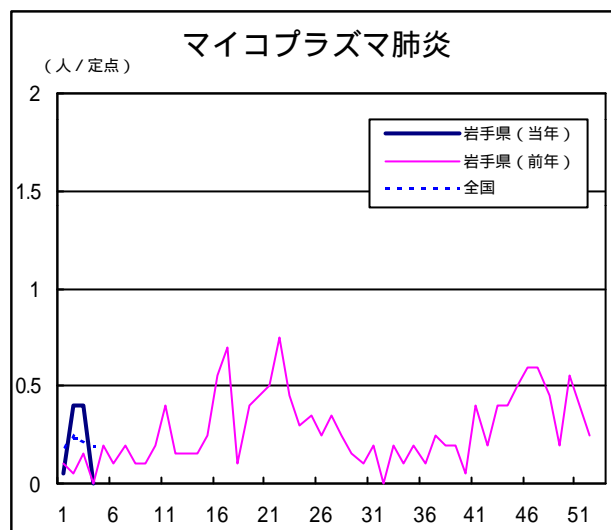
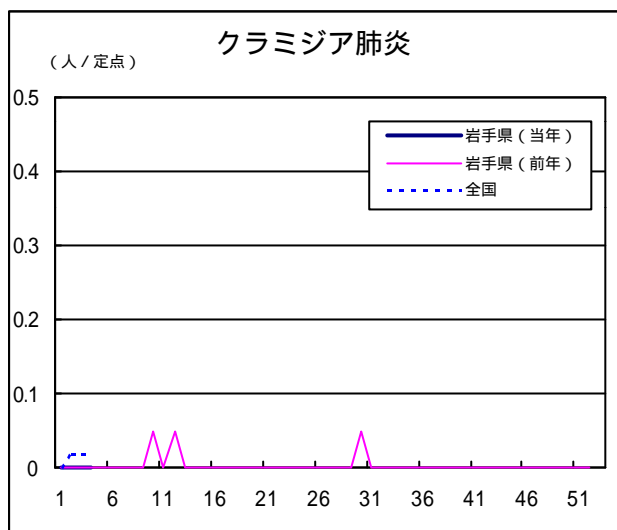
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
 岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail:CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	63	39	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成18年第4週 平成18年2月3日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>